

柏市情報モラル育成プログラム(平成30年度暫定版)

【小中学校9年間の目標】

他者への影響を考え、人権、知的財産権など自他の権利を尊重し、情報社会での行動に責任をもつことができる。また、危険回避など情報を正しく安全に利用でき、コンピュータなどの情報機器の使用による健康とのかかわりを理解することができる。

【学年別到達目標と学習内容】※コンテンツ: 広島県教科用図書販売株式会社の「事例で学ぶネットモラル」

学年・教科等	指導事項・コンテンツ	目標リテラシー	特別の教科道徳との関連	チェック欄
小学校1年 道徳・学活	人の作品を大切にする/「友だちの作品に落書きしないで」 指導案 ワークシート	人が作った作品や著作物を大切にできる態度を身につけることができる。	P.106「いたづらがき」	
小学校2年 道徳・学活	安全なネットの使い方/「大人と一緒に使おう」 指導案 ワークシート	インターネットは、大人と一緒に使うと安全であることがわかる。	P.126「いのちはいくつあるのかな」	
小学校3年 道徳・学活	個人情報を守る/「知らない人に自分や他人の個人情報を教えない」 指導案 ワークシート	個人情報とは何かを理解し、自他の個人情報を守るためにどのようにすればよいかを考えることができる。	P.148「それは、だれの作ひん」	
	著作物の利用/「CDにこめられた思い」 指導案 ワークシート	著作権があるものを使う場合は、引用を明記したり、著作権を所有する人の許可を得たりしてから使用しなければならないことがわかる。		
小学校4年 道徳・学活	ケータイと私たちの生活/「この差はなんなの？」 指導案 ワークシート	携帯電話の便利なところや心配なところ、料金等について知り、正しく活用していこうとする姿勢を高める。	P.152「けいたい電話の落としあな」	
小学校5年 道徳・学活	ネットいじめ/「ネットいじめは絶対にやめよう」 指導案 ワークシート	ネット上で実名をあげたり相手を誹謗中傷する書き込みやメールを送ったりする“ネットいじめ”は絶対に行ってはいけない行為であることがわかる。	P.164「これも、チェーンメール」	
	チェーンメールへの対処/「不幸のメールって、ほんとう？」 指導案 ワークシート	チェーンメールがどんなものか知り、これらが届いたときには、次の人に回さない勇気と態度を育てる。		
小学校6年 道徳・学活	ネット被害・SNS等のトラブル【ITアドバイザーによる授業支援】	インターネットへの特性を理解し、誤解によるトラブルや相手の立場や気持ちを考えて情報発信することの大切さについて考えることができる。	P.180「けいたい電話とのつきあい方」	
	ネット上で知り合った人との約束は危険/「えっ！こんな人だったの！」 指導案 ワークシート	インターネット上で仲良くなったからといって、会う約束をしたり個人情報を教えたりしてはいけないことがわかる。		
中学校1年 道徳・学活	傍観者の視点で考え議論する授業【外部講師による授業支援】 指導案 ワークシート 動画① ② ③ ④ ⑤	ネットいじめの早期発見・抑止力を生み出すための「傍観者」の役割について考える。		
	情報を発信するときの責任/「確かめなかったせいで」 指導案 ワークシート	発信した情報が多くの人に影響を及ぼすことや、発信した情報には責任が伴うことについて考えることができる。		
中学校2年 道徳・学活	SNS等のトラブル(情報の記録性・公開性の大きさ)【ITアドバイザーによる授業支援】	インターネットへの投稿が自分や他者に与える影響や不利益となることを知ることを通して、情報社会における責任や義務について理解することができる。		
	個人情報の管理/「アドレス帳はだれのもの？」 指導案 ワークシート	アドレス帳にある情報は他人の大切な個人情報であり、慎重に取り扱うべきものであることに気づくことができる。		
中学校3年 道徳・学活	私たちの道徳(P226～229) 文部科学省「考えよう情報社会の光と影」 「情報社会に生きる一人として絶対にしてはいけないこと」 活用事例	情報化の影の部分がかたらず様々な問題(誹謗中傷・いじめなど)について、資料をもとに考えることができる。		

※ 新学習指導要領移行期間のため、新たなカリキュラム作成までの暫定版とする。

※ この他に、中学校の技術・家庭「D情報に関する技術」の中で、情報モラルについて指導する。

※ 少年補導センターや警察・企業などの外部機関と連携し、講演会等を実施することで、情報モラルの育成を図る。